



宮野の歴史		
西暦(和暦)	宮野地域に関する事項	県内外等の出来事
806 (大同 1)	清水寺 創建 《山口盆地最古の寺》	794 平安京造営
851 (嘉祥 4)	仁壁神社 創建 (社伝)	
905 (延喜 5)	岡の原天満宮 創建 (社伝)	1355 大内弘世 周防平定、長門進出
1186 (文治 2)	宮野庄 東大寺造営料所となり、重源や陳和卿等が来朝	1467~1477 応仁の乱
1461 (寛正 2)	雪舟、大内教弘に招かれて山口に來朝(宮野・雲ヶ谷の澄清寺内に雲谷軒を築き居住か)	1871 山口県発足(廃藩置県)
1551 (天文20)	フランシスコ・サビエル 大内義隆より布教を許され、江良大道寺を拠点に布教を開始	1889 大日本帝国憲法発布
1867 (慶應 3)	木梨邸 涌泉庵地に築邸	1894~1895 日清戦争
1870 (明治 3)	脱隊騒動で宮野政助外が下小鯖村終で処刑	1897 山口歩兵第42連隊 山口配置
1873 (明治 6)	宮野小学校 開校	
1889 (明治22)	宮野村発足(町村制施行)	
1892 (明治25)	大和作太郎が三人の子どもと共に萩より宮野岡の原に居住し築窯	1904~1905 日露戦争
1916 (大正 5)	寺内正毅 第18代内閣総理大臣就任	1914~1918 第一次世界大戦
1917 (大正 6)	国鉄山口線宮野駅開業	1929 山口市制施行
1922 (大正11)	桜園寺内文庫開庫	1939~1945 第二次世界大戦
1926 (大正15)	大道寺跡地にサビエル記念碑建立・除幕	1947 日本国憲法施行
1941 (昭和16)	宮野村 山口市編入合併 山口市宮野財産区設立 県立山口女子専門学校設立(現山口県立大学)	1963 山口国体秋季大会開催
1947 (昭和22)	宮野中学校開校(六三制施行)	1964 東京オリンピック開催
1955 (昭和30)	陸上自衛隊 山口市に駐屯	1973 山口線の蒸気機関車廃止
1979 (昭和54)	二義少年を顕彰する合同の碑建立	1975 山陽新幹線全線開通
1984 (昭和59)	山口ふれあい館開設	1979 山口線SL復活 C57(貴婦人)
1985 (昭和60)	第1回宮野ホテルまつり開催	1984 山口県庁新庁舎竣工
1988 (昭和63)	荒谷ダム完成	
1991 (平成 3)	自治体衛生通信機構山口管政局開局	1995 阪神淡路大震災
1995 (平成 7)	国道9号山口バイパス完成 国道262号宮野バイパス完成 山口市スポーツの森開設	2001 山口きらら博開催
2001 (平成13)	旧宮野駅舎に「地域交流ステーション宮野」開設	2011 東日本大震災
2016 (平成28)	宮野地域交流センター完成	おいでませ山口国体・山口大会



1 国境の碑
防長両国内の大道の1つである石州街道(野坂〜小郡間)の長門国と周防国の国境に位置する大峠に設置。花崗岩の石碑には「北長門國阿武郡」「南周防國吉敷郡」「明治19年12月建立」と刻まれている。



2 木戸山千本桜と記念碑
国道9号線の開設を契機に、昭和39年から9年間に渡って、道路沿いにソメイヨシノ・オシマザクラなどの苗木1,000本が地域住民により植栽された。この植栽の完成を記念した碑が建立されている。



3 木戸山公園
国道9号線の開設を契機に、宮野地域住民やマロニエの森の会によってサクラ、カエデ、トチノキ、ユリノキなどが植栽され、公園として整備された。春は花見、秋は紅葉狩りで地域の人々の憩いの場となっている。



4 国境の碑
夏木原から萩往還の最高所となる板室峠に向かう道の左手に大きな花崗岩の石碑が建てられている。高さ1.2mの石碑には、「北長門國阿武郡」「南周防國吉敷郡」「文化5年戊辰1日建立」と刻まれている。



5 荒谷ダム・宮野湖
荒谷に昭和63年に完成した多目的ダムで、山口県と山口小郡地域域水道企業団が建設。宮野湖と命名され、周辺は宮野財産区有林からなり、資源涵養・木材生産の場として地域発展に寄与している。



6 人丸様
疫病平癒、火難除けが勧請由来。もとは採掘・精錬職人の祭祀伝承を基にしている。宮野上金山谷には一の坂銀山があり、明治から昭和初期まで採掘があったことから採掘職人の信仰。七房林道を登ると石鳥居と祠がある。



7 湯尾山如意輪観音菩薩
入野・床夏(泉)岩川(岩枝)の住民が講員。総代・当屋は順番で、初観音(1月17日)夏供養(8月10日)年2回の供養を行っている。20年ごとの御開帳供養は盛大である。近年、境内に咲く石楠花も知られている。



8 宮野ホテルの里
榎野川と枝坂川の合流地点一帯で、ゲンジボタルの乱舞が見られる。宮野小学校「ホテル委員会」の児童による、採集・飼育・放流が毎年行われている。見ごろは、5月下旬から6月中旬までで、見物人に賑う。



9 ムクノキ巨樹群
仁壁神社の末社の綿積神社(旧竜王社。明治2年改名)の境内にムクノキの巨樹が5本ある。昭和50年8月に山口市指定天然記念物に指定され、最大なものは、根回り約8m、目通り幹囲約5m、高さ約25mもある。



10 二義少年の碑・義少年の石仏碑
寛文年間(1661〜1673)のある夏、宮野は日照り続きで稲は枯死寸前であった。この折恋路の2人の少年が、一ノ井出上流の13枚の井出を切り落とし、下流の農家の難を救った。藩に直訴したため、その罪により処刑されたが、このことにより永年の水争いが解決した。村人達は、この義挙を偲び、石仏2基(中恋路・下恋路)を作り供養したと伝えられている。昭和50年3月一ノ井出改良工事を記念し、二義少年を顕彰するため合同の碑を建立した。



11 江良不動尊
宮野三河川の一つ、江良川の安寧を祈る聖地である。戦後の昭和23年に、不動尊が浮彫にされた大石を2人の男性が発見し、翌年に開山された。石仏群の背景にある滝は結界とされており、裸足で入らなければならない。



12 雲ヶ谷と乳岩観音
木梨堤から「雲ヶ谷」と称する谷間を登ると、山口県と山口小郡地域域水道企業団が建設。途中、大内持世の墓、菩提寺の「澄清寺」址及びその末寺の七坊址がある。また、画聖雪舟のアリエ「雲谷軒」があったとの説もある。



13 大内持世の墓
大内氏第27代持世(1364〜1441)は、嘉吉の乱で重傷を負い逝去。「新続古今和歌集」に作品が遺されている歌人でもあった。没後は、自身が建立した「澄清寺」に葬られた。毛利元徳卿による墓碑が現存している。



14 木梨邸と涌泉庵址
維新胎動期に活躍した木梨彦右衛門(榎原治人)が、大内持世の菩提寺「澄清寺」の七坊の一つである「涌泉庵」址に隠居場所として慶應3年(1867)に築邸。春は樹齢150年のエドヒガン桜、夏は堤一面の睡蓮が見所。



15 木梨精一郎の墓
木梨彦右衛門の長男、戊辰戦争では東海道先鋒総督府参謀等を歴任。英公使パークスとの談判や江戸城無血開城等で活躍。沖縄県令心得、長野県令等を経て元老院議員、貴族院議員を歴任。勲功に依り男爵を授爵。



16 法明院
10世紀末、平安時代創建の古刹で、裏庭に市指定天然記念物「ミツガシワ」(4月上旬〜開花)が自生する。幕末1866年、幕長戦争の折に益田で捕縛された幕府軍監(兵の監視役)、長谷川久三郎一行を拘禁した。



17 殿山古墳
[山口宰利国土進案 桜島村1]に記録が残る。幕末の天保10年(1839)に法明院の住職が小庵を造ろうと地面を掘ると石棺が出し、棺の中は朱塗され枯骨と剣が入っており、貴人の墓と考えて埋め戻したと伝えられる。



18 常栄寺・雪舟庭
毛利隆元の菩提寺として安芸吉田(広島)に創建されたのであるが、毛利氏の防長移封後に山口の国清寺(大内盛見の菩提寺)跡に移され、更に文久3年(1863)の藩庁移転後に現在地に移された。本尊は「千手観音」で、山号は香山、臨済宗東福寺派。現在地は、およそ500年前の室町時代、大内政弘が築邸した別邸を母の菩提寺(妙喜寺)としていたもので、後庭は画僧雪舟等楊に依頼して築庭したと伝えられる「雪舟庭」で国の史跡及び名勝に指定されている。



19 寺内元帥墓地
寺内正毅公は、平川に生まれ宮野の母方寺内家の養子となり、幕末維新の戦役に従軍した。軍人として身を立て、陸軍大臣・初代朝鮮総督・元帥・内閣総理大臣を歴任。大正8年に病死しこの地に埋葬された。



20 桜園寺内文庫
寺内正毅公が収集した史書などを収蔵するため、息子の寿一が建築した文庫。大正11年2月5日に開館した。表現主義の建築物で、その後地元の大学の図書館となったが、今は使われていない。



21 陸上自衛隊山口駐屯地 尚武館
明治30年に旧陸軍歩兵第42連隊が移駐した時に旧毛利藩主より武道館として寄贈された。現在は、資料館として寺内元帥ゆかりの物や旧軍ゆかりの制服等が多く展示されている。



22 旧陸軍墓地
明治33年の北清事変(義和団事件)や明治37年から38年の日露戦争に出征し、戦病死した県内外の出身者が祀られている。墓標336基を数える。軍用墓地として原型を残しており全国的に珍しい。



23 山口県護国神社
山口県出身の英霊を慰霊するための神社として、昭和16年8月に現社殿が竣工した。ペリー来航以降の多くの国事・事変・戦争で一身を国家に捧げられた山口県出身5万2千柱の御霊が祀られている。



24 妙喜寺
1455年大功円忠により開山され木造千手観音菩薩像を本尊とする曹洞宗の寺。開基は大内政弘の母、義隆の母。二度の寺号の変遷後、明治30年に元の寺号に戻り雪舟が指図して築庭したと伝えられる小庭園が残っている。



25 初瀬観音堂
本尊十一面観音は初瀬様式の平安仏とされ、山口七観音の一つ。小高い丘に建つ観音堂の佇まいは地域に長く愛され、数多くの古記録に登場する。明治41年に皇太子(大正天皇)が登り、歩兵第42連隊を閲兵した石碑が残る。



26 山口十境詩 泊瀬潮嵐
大内弘世の時代に山口に滞在した明使趙秩が山口10か所の景勝地を詠んだ漢詩の1つである。当時ここにであった真言宗の泊瀬寺を詠んだもので、平成22年に詩碑が建立された。



27 防長英霊塔
明治維新以来、幾度かの戦役に身を投じ、散華された4万8千余の御霊が合祀されている。昭和37年10月17日建立。高さ18.18メートル。塔の左は長門部、右側は周防部の納骨堂となっている。



28 原爆死没者の碑
昭和49年9月6日除幕。この地に埋葬されていた原爆死没軍人と県内被爆者を弔う碑であり、毎年9月6日に山口県原爆死没者追悼・平和式典が開催され、「やまぐちのヒロシマデー」と称されている。



29 仁壁神社
周防国三ノ宮と呼ばれる古社であるが、創建年代は不明。宮野の名の由縁でもある。現社殿は、平成9年の火災で焼失した後に再建されたものである。社叢には、ムクノキ・ムクロジ・ケヤキ・スギなどの巨樹が囲んでいる。



30 石風呂観音・山崎庵
宮野に現存する唯一の石風呂であり、山崎庵三宝院に付設されている。約300年の歴史があるが、大正時代に全焼した。再建後石風呂の上にお堂を建て「蘭かけ石風呂観音」として祀られている。



31 カイツカイブキ
沖桜島阿川氏宅地内にそびえているが、明治初めには、今の大きさであったという。樹木匠によると、推定樹齢は150年以上のこと。樹高7.5m・幹周2.9mあり。平成28年に山口市保存樹に指定されている。



32 宮野駅とカイツカイブキ
大正6年7月1日開業。現在は無人駅。旧駅舎は「地域交流ステーション宮野」として活用されており、往時の駅の風景写真も展示されている。旧駅舎入口に駅の開業記念に植樹されたカイツカイブキがある。



33 一畑薬師
建立は江戸時代後期と推測される。「宮野名所旧跡図」にはおやし様(一畑薬師)・約150年前の記録がある。当時、御陰参り(伊勢神宮への集団参拝)が盛んで、参詣者が灯籠を建立し遍拝所としていたのでは。



34 長井徳次郎翁頌徳碑
宮野財産区創設者長井徳次郎翁は、昭和16年4月1日に宮野村が山口市に合併する時、村有林を財産区とし、初代財産区議会議長として宮野地区のために尽力した。宮野財産区有林の面積は1,431haにおよぶ。



35 「百万一心」の碑
大永3年(1523)毛利元就が27歳で本家毛利を相続した時、「郡山城」を築城した際、石垣がどうしても崩れるので「人柱」案が持ち上がったが、元就は「百万一心」の字を彫らせ、「百」の字を「一」と「日」に分け、「万」の字を「一」と「力」に分け、「一日一力」とし、「一」は「同じく」の意であり、「日」を同じく・力を同じく・心と同じく」と説き、家臣に「一致団結」と「協力」の精神を諭した。山口・広島県内に31か所ある。



36 宮野小学校発祥の地碑
明治6年、廃寺となっていた法泉庵を寺内甚三が買い上げ、小学校舎として寄付した。児童数約50名、教職員3名という数字は、当時の宮野地域の規模を伝えている。子どもたちの音読の声は岡の原まで聞こえたという。



37 廻国塔
全国の神社仏閣を巡る修行者の1人が記念に建立した。塔の左側に「明和九年壬辰八月十五日 願主六部江州荒田弥兵衛」と刻まれている。石州街道沿いの6基の廻国塔で、他国人(近江国)の名を刻んだものはここだけに残る。



38 萩焼窯宮野松緑窯
明治25年、萩から移住した大和作太郎松緑が宮野の地に窯の火を起した。宮野焼・松緑焼と呼ばれる萩焼を創作してきた。現在では、伝統の火を守りつつ、新風を求める陶芸家たちが、独自の作品も創り出している。



39 岡の原天満宮・長持行列
延喜5年(905)の創建といわれ、祭神は学問の神様である「菅原道真公」である。永禄12年(1569)大内の乱で焼失し、寛文の頃(1661〜1672)再建された。現在の本殿は享保元年(1716)、拝殿は昭和6年の建立といわれ、近くに御旅所があったとされる場所が残っている。陰暦10月11日を祭日と定め、秋例祭(11月)には、前夜祭・御神幸・もちまきが行われる。大・小常司行列や長持行列が宮野一帯を練り歩く。



40 羽平堤
羽平堤は幅100m、奥行き150mの貯水池で、冬はマガモ、オンドリ、ヒドリガモなどが数多く飛来し、夏場は青紫色の美しい羽根のチョウトンボが群れを成すなど自然環境に恵まれ、その景観に癒される。



41 花立観音堂
文永3年(1266)の創建。付近に多くの人がお参りし、小さなお供えをする。毎年4月の第1日曜日には足王祭が行われる。ここには、湧泉院があったとされ、廃寺後も地藏尊・通夜堂・供養塔が残されている。



42 足王様
足の病気になる神様として多くの人がお参りし、小さなお供えをする。毎年4月の第1日曜日には足王祭が行われる。ここには、湧泉院があったとされ、廃寺後も地藏尊・通夜堂・供養塔が残されている。



43 隊中様・宮野政助の墓
宮野政助は、幕末に遊撃軍に入り、幕長戦争や戊辰戦争などで戦った。明治維新後、常備軍の選にもれた脱隊兵の組織(隊中様)に入り、山口政事堂(藩庁)を包囲した罪で処刑された(享年31歳)。後年、墓碑が建立された。



44 清水寺
806年の創建。千手観音菩薩を本尊とする。真言宗の寺院で、山号を花瀧山、山口盆地最古の寺。山口十境詩の1つに「清水晚鐘」が詠じられた地。山門に安置されている阿形・吽形の仁王像は室町時代の傑作である。



- 1 国境の碑
- 2 木戸山千本桜と記念碑
- 3 木戸山公園
- 4 国境の碑
- 5 荒谷ダム・宮野湖
- 6 人丸様
- 7 湯尾山如意輪観音菩薩
- 8 宮野ホテルの里
- 9 ムクノキ巨樹群
- 10 二義少年の碑・義少年の石仏碑
- 11 江良不動尊
- 12 雲ヶ谷と乳岩観音

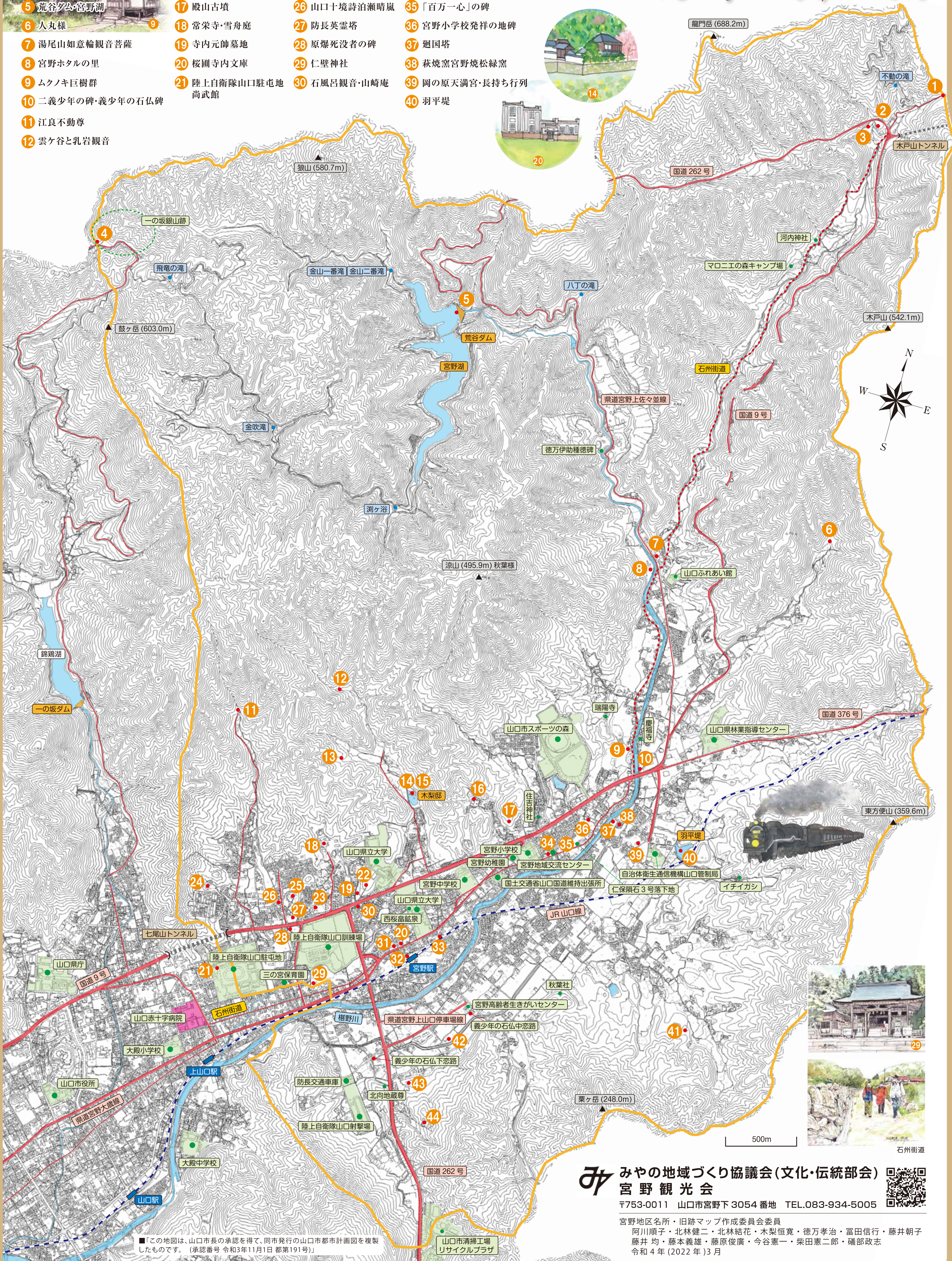
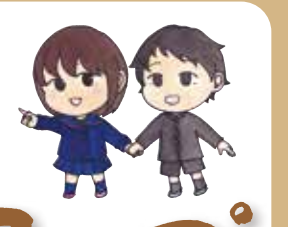
- 13 大内持世の墓
- 14 木梨邸と涌泉庵址
- 15 木梨精一郎の墓
- 16 法明院
- 17 殿山古墳
- 18 常栄寺・雪舟庭
- 19 寺内元帥墓地
- 20 桜園寺内文庫
- 21 陸上自衛隊山口駐屯地 尚武館

- 22 旧陸軍墓地
- 23 山口県護国神社
- 24 妙喜寺
- 25 初瀬観音堂
- 26 山口十境詩泊瀬晴嵐
- 27 防長英霊塔
- 28 原爆死没者の碑
- 29 仁壁神社
- 30 石風呂観音・山崎庵

- 31 カイツカイブキ
- 32 宮野駅とカイツカイブキ
- 33 一畑薬師
- 34 長井徳次郎翁頌徳碑
- 35 「百万一心」の碑
- 36 宮野小学校発祥の地碑
- 37 廻国塔
- 38 萩焼窯宮野焼松緑窯
- 39 岡の原天満宮・長持ち行列
- 40 羽平堤

- 41 花立観音堂
- 42 足王様
- 43 隊中様・宮野政助の墓
- 44 清水寺

宮野地区 名所・旧跡マップ



石州街道

みやの地域づくり協議会(文化・伝統部会)
宮野観光会
〒753-0011 山口市宮野下 3054 番地 TEL.083-934-5005



■「この地図は、山口市長の承認を得て、同市発行の山口市都市計画図を複製したものです。(承認番号 令和3年11月1日 都第191号)」

宮野地区名所・旧跡マップ作成委員会委員
阿川順子・北林健二・北林結花・木梨恒寛・徳万孝治・富田信行・藤井朝子
藤井均・藤本義雄・藤原俊廣・今谷憲一・柴田憲二郎・磯部政志
令和4年(2022年)3月